

子どもとその家族に寄り添うことを大切にしています

Q 1 所属する部署の看護の特徴・業務内容を教えて下さい。

小児科では、新生児期～学童期までの幅広い年齢の子どもたちの治療に携わります。また、子どもだけでなく家族も含めた看護を行っています。そのほか、生まれつき障害を持った子どもたちや呼吸器などの医療機器が必要な子どもたちの看護に携わるのも当院小児科の特徴です。

Q 2 患者さんとの関わりで印象的だったエピソードはありますか。

医療的ケアが必要なお子さんの受け持ち看護師として、自宅での一日のケアを提案し、ご両親への指導を行いました。その際、院内多職種・地域の関係機関と連携し、お子さんや家族が安心して自宅に退院できるように調整しました。数か月にわたる長期の入院でしたが、退院するときにご両親が泣きながら感謝してくださったのが、とてもうれしく、印象深く残っています。

Q 3 高度急性期病院で働く魅力は何ですか。

急性期病院では、子どもとその家族が心身共に一番辛い時期を看護するため大変なことも多いです。しかしその反面、子どもたちがみるみる回復していく姿も見ることができます。その回復をご家族と一緒に喜ぶことができ、子どもたちの回復や成長を感じられるというのが大きな魅力だと思います。また、当院小児科は循環器や外科、脳神経外科などの様々な小児診療科の混合病棟であるため、小児における幅広い分野の急性期治療を学ぶことができるのも大きな魅力だと思います。

